

イマカナ 街・ひと

ひめく喫茶店や食堂、アパートなど、かつての「学生街」を思わせる景色は少なくなったものの、いつの時代も大学周辺には、若者たちの学びや暮らしを応援する人がたくさん

います。県内大学のお膝元となる街の魅力を紹介します。企画。初回は、神奈川大学の最寄り駅、東急東横線白楽駅前に広がる六角橋商店街周辺(横浜市神奈川区)を訪ねました。

大学のある 街



アーチと街路灯リニューアル

昨年、約30年ぶりにリニューアルしたアーチと街路灯は、神奈川大大学院生がデザイン。約300灯の大通りに、アーチ(高さ約7m)が7基、街路灯は45本ある。色とりどりのステンドグラスをちりばめ、商店街の名にちなんでそれぞれに六角形や漢数字の「六」をあしらっている。



下町のような懐かしさ

戦前から続く横浜市内有数の商店街。東急東横線白楽駅と六角橋交差点を結ぶアーチが架かる約300mの大通りと、並行する約250mのアーチ通り「ふれあい通り」からなる新旧約170店舗が軒を連ねる。青果店や精肉店、雑貨店や衣料品店からカフェ、バーなどさまざまな店が並ぶ。

アーチ通りは戦後間もなく建った建物が多く残り、長屋風の木造店舗は昭和レトロな雰囲気を醸し出している。下町のような懐かしい風情は、ドラマや映画のロケ地としても有名。

年間を通して数多くのイベントを開催。夜のフリーマーケット、夏に行われる商店街プロレスは人気で、大勢の人が集まりに集まる。また、地元神奈川大学(神大)と連携した交流イベントも盛んだ。

六角橋商店街事務所 横浜市神奈川区六角橋1の10の2。☎045(432)2887。http://www.rokkabashi.jp/

古き良き魅力いっぱい



昭和の風情が残るアーチ通り「ふれあい通り」

突撃! インタビュー

「六角橋商業協同組合」「六角橋商店会」「六角橋興和会」「六角橋中央会」の4商店会が構成される六角橋商店街連合会。同連合会会員の糸井勇さん(72)と写真家、野村浩さん(84)＝同左＝に話を聞いた。

「ドッキリヤミ市場」は、今年で20年。商店街の名物イベントの一つになりました。糸井 空き店舗対策をはじめ、ファミリー層や学生を商店街に取り戻そうと、台湾やタイのナイトマーケットをヒントに始めました。一神大生も協力していると聞きました。が、糸井 第1回から運営を千任してもらっています。

全国的に路面店の商店街が減少するなか、力を入れている取り組みは? 野村 地域の皆さんに愛されるよう、各店舗が協力して魅力あるイベントを続けていくことです。若い世代に向けては? 野村 フェイスブックやツイッターなどのSNS、無料通信アプリ「LINE」を使ってセールやイベント情報、お得クーポンなどを積極的に配信しています。

うまいもの市場

第1日曜 正午～
※3～11月(7、8月は休み)

商店会加盟店の女性スタッフでつくっておかみさんの会「元気かい」が企画・運営する。早朝から商店街名物の具だくさんのすいとんを仕込み、1杯150円で販売。この日のために取り寄せる菓子や、各店自慢のパンやおにぎりなどが並ぶ。今回は5月7日。

ドッキリヤミ市場

第3土曜 午後8～10時 ※4～10月(8月は休み)

1997年から続く商店街の風物詩。道幅約2mの木造アーチ通り「ふれあい通り」の店が閉店後、シャッター前の通り一帯が夜のフリーマーケット会場に様変わりする。約20組が出店。古着やアクセサリーといった掘り出し物を探し、若者や親子連れら大勢の人が繰り出す。焼き鳥などの露店も並ぶ。

「大通り」ではライブパフォーマンスやダンス、大道芸などが行われ、商店街一体がお祭りムードに。今回は5月20日。



商店街プロレス

大日本プロレスの協力で2005年にスタート。商店街に隣接した駐車場に特設リングを設置し、6、7試合が行われる。迫力ある試合を間近で観戦できるとあり、地元のみならず地方からもファンが押し寄せる人気ぶりだ。

きっかけは、映画の撮影。プロレスラーが主人公の映画のロケが同商店街で行われ、出演者として参加した大日本プロレス所属のレスラーと「地域を盛り上げよう」と意気投合。翌年から夏休み恒例イベントとして開催されるようになった。今年は8月5日。チケットは6月1日発売開始。

夏休み恒例企画

8月の第1土曜



六角橋

(横浜市神奈川区)

地元の学生応援



キッチン友 洋食店



☆横浜市内神奈川区六角橋1の7の21。白楽駅徒歩5分。正午～午後9時45分L.O.。水曜休み。☎045(431)1152。

ボリューム感健在
スペシャル友風焼き

六角橋商店街ふれあい通りで、半世紀を超えて伝統の味を夫婦で提供し続ける洋食店。常連客の目当ては、店の名を冠した「スペシャル友風焼き」(950円)。しょうゆと白ワインを合わせた特製だれで焼いた豚肉の上に、肉が見えなくなるほどの山盛りの炒めたタマネギを盛り付けた。

食べ進めると、カラフルな付け合わせ野菜と、たれがたっぷり染み込んだパスタが顔を出す。歯ごたえ薄すぎず、白飯がすすむ絶妙なかれと、ボリューム感が人気の秘密。「変わらぬこの味に合っているように常連さんや学生さんに言われる度に、やりがいを感じます」と大友良祐さん(73)。

☆学生さんにお薦め!

- ・スペシャル友風焼き 950円(ライス付き)
- ・ジャンボランチ (カツ・エビフライ・ハンバーグ・唐揚げ・目玉焼き・ライスのみセット付き) 1250円
- ・ベテカランチ 850円(大きめの一口カツがたっぷり載った一皿)

若者の胃袋を満たす
白宝豚コース中定食

学生やサラリーマンの胃袋を「どん」と満たし続けるどんかつ屋さん。ご飯、キャベツ、豚汁のお替わりが自由で、食欲旺盛な若者の強い味方だ。オーナーの草野兼伍さん(43)は「入学が決まって家族で家を探しに来る神大生やサークルの先輩に連れられて来店する学生さんが多いですね」と話す。

店自慢の白宝豚は千葉県産のオリジナルブランド豚でオーナーが吟味選んだ品種。やわらかい肉質で脂身のしつこさがなく、最初に岩塩で食べるとより肉の甘みとうま味が感じられる。食事を楽しんでいた神奈川大学ハンドボール部の4人も一様に「おいしい!」。卒業生も再び立ち寄り、六角橋「青春の味」。

☆学生さんにお薦め!

- ・白宝豚コース中定食(150%) 1380円
- ・白宝豚コース中定食(100%) 1080円
- ・ねぎ塩豚コース中定食 1280円

とんかつどんとこい

とんかつ店



☆横浜市内神奈川区六角橋1の11の19。白楽駅徒歩5分。午前11時半～午後9時半L.O.。不定休。☎045(439)3771。

スープと肉汁ジュワッ
焼き小籠包

今月、7周年を迎える焼き小籠包専門店。肉あんを小麦粉の皮で包んだ包子を数珠で揚げ焼きした点前で、かじると中からスープと肉汁がジュワッとあふれ出る。3個350円から。

店内には2014年の箱根駅伝90回大会に出場した神奈川大学のタオルメンが飾られており、選手のサインが貼られている。「卒業生で駅伝のエースだった柿原和也選手が当時、店の常連でね」と店長の高梨修平さん(39)はうれしそう。柿原選手の影響でマラソンを始める、毎月2.5km走るのが日課になった。最近では大会にも出場する。店の情報をツイッターやブログで発信しているうちに学生たちが集ってくるようになって。卒業式と定休日が偶然重なった昨年は会場まで会いに行つて記念品を贈ったよ。大学がある街ならではの交流も生まれた。

☆学生さんに人気の3品

- ・焼き小籠包3個とタピオカドリンクのセット 500円
- ・海鮮小籠包の肉汁汁 選べる 750円
- ・濃厚肉汁(だし)つけ麺と焼き小籠包3個のセット(麺100%) 780円



☆横浜市内神奈川区六角橋1の9の1。白楽駅徒歩4分。午前10時半～午後10時(日曜・祝日は午後8時まで)。火曜休み。☎045(433)4677。

駅伝優勝時、陸上部が常連に
銭湯

1929(昭和4)年から親子3代に渡り、南へてひるの歴史を守り続けてきた銭湯。営業前から常連客が列をなし、夜になると近くの神大生も顔を出す。3代目の堀正義さん(57)は「1997年に陸上部が箱根駅伝で

初優勝した当時、よく利用してくれました」と顔をほころばす。当時のキャプテンが今はコーチを務めているとの話も飛び出す。いまだに卒業生とも交流があり、近況報告がたらぎにくるメンバーも少なくない。

銭湯に詳しい客からも「湯がやわらかい」と評判だそう。「入のつなぐりを大事にする六角橋ならではの交流の場になれば」と堀さんは話す。

★入浴料金

- ・大人(中学生以上) 470円
- ・中人(小学生) 200円
- ・小人(幼児) 100円



☆横浜市内神奈川区六角橋2の15の5。白楽駅徒歩9分。午後2時半～午前0時。水曜休み。☎045(491)8196。



HIP エイチビー

HIP(エイチビー)は、高校生を応援するフリーマガジンです。神奈川県内の約20万人の高校生に、教室で配布しています。

▶HIPはハイスクールポテンシャルの略。部活動や地域活動に求めている高校生を応援しています。▶紙面制作には現役の高校生記者が活躍中。記者は常時、募集しています。▶タブロイド判フルカラーで年4回発行。▶神奈川県内の高校生だけが「読める、投稿する」に参加できるフリーマガジン。それがHIPです。▶編集協力:県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、横浜教育委員会、横浜私立高等学校協会。▶発行:神奈川新聞社。▶HIP公式サイト: http://www.kanagawa-shimbun.jp/hip/

県内の全ての県立・市立高校(定時制を含む)と、一部を除く私立高校に配布しています。

お問い合わせ先:神奈川新聞社クロスメディア営業課HIP編集部 TEL 045-227-0825(平日10:00～18:00)

投げた、その先に...

高校生のみなさん、入学・進級、おめでとうございます。フリーマガジンHIP。特集テーマは「投げた、その先に...」。

チカラを投げたその先に、どんな青春が待っているのか...



最新号
配布中!

史上最大の715部3万部でプロデビューになった坂本が、やま(横浜国立大学3年生)女子には珍しい、高遠投手を育てる「ローテーション投法」を語る。巻頭特集に登場です。

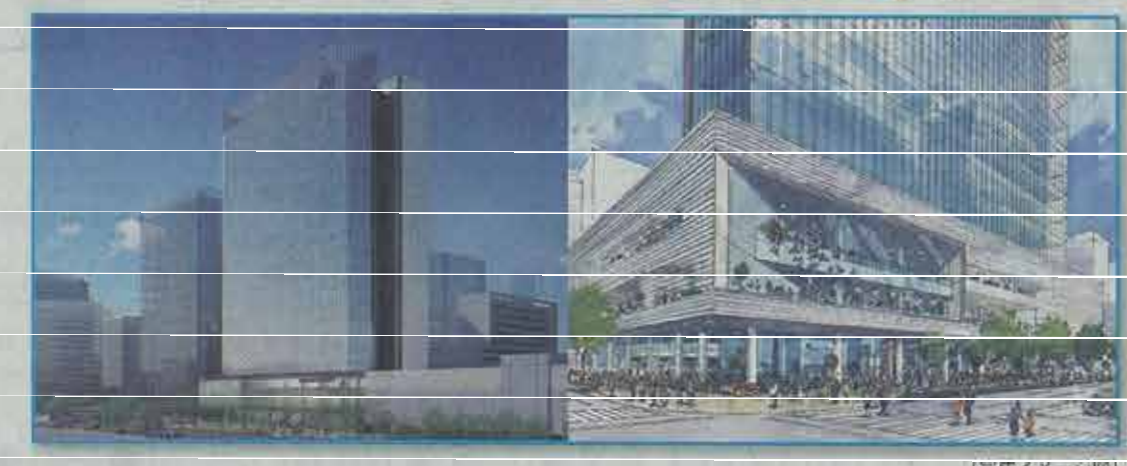
神奈川大学には
給費生試験がある。

「教育は人を造るにあり」という創立者・米田吉盛の教育理念を今も継承する神奈川大学。1933年より実施している本学独自の「給費生制度」は、単に経済支援のためだけでなく、広く全国から優秀な人材を募り、その才能の育成を目的としている奨学金制度です。

12月23日、全国20会場で「給費生試験」実施

4年間で最大800万円、返還不要の奨学金を給付

2種類の合格「給費生合格」&「一般入試免除合格」

みなとみらいに 2021年4月開設予定
新キャンパスが誕生します。

KU 神奈川大学

横浜キャンパス | 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 湘南ひらつかキャンパス | 平塚市土庫2946
お問い合わせ | 入試センター Tel.045-481-5857 http://www.kanagawa-u.ac.jp/

法学部/経済学部/経営学部/外国語学部/人間科学部/理学部/工学部

文系・理工系7学部20学科2プログラムを擁する総合大学